



夢風

YUMEKAZE

第115号（令和元年度 No.2）



みなさん、夢風によろこ。

総体予選では、女子ソフトテニス部（個人・団体）、弓道部（女子団体）が勝ち進み、県大会に出場しました。

また、6月4日（火）から学校祭が行われました。天気にも恵まれ、3年ぶりに順延することなく体育的行事も予定どおり実施することができました。詳細は次号でお伝えします。



「夢風」は Web ページでも発信しています。 <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp>



ニュース

News



● 企業・キャンパス見学会（1年生）

5月22日（水）、1年生は「産業社会と人間」の授業の一環として、企業・キャンパス見学へ出かけました。クラスごとに午前は大学（1組から順に、愛知教育大学、名城大学、愛知県立芸術大学、中京大学、愛知大学、愛知県立大学）、午後は企業（1組から順に、イビデン、アイホン、花王、愛知県赤十字血液センター、富士特殊紙業、LIXIL）を訪問させていただきました。



火災時は「二酸化炭素で蔵書を守る」と聞いてびっくり！

午後の企業見学では、広い施設内を丁寧に説明していただきながら見学し、事前学習で調べた知識を元に実際に働く方に数多くの質問をしていました。なぜその仕事に就いたのか、何にやりがいを感じるのかなど、生の声を聴くことで、働くことの意義を考えるよいきっかけとすることができました。

この経験が、これからの進路選択の一助になることを願っています。



愛知大学では、就職活動の合間を縫って東高卒業生（平成28年3月卒）が留学経験などについて話してくれました。

午前のキャンパス見学では、図書館の蔵書数の多さや徹底した防災設備に驚いていました。模擬授業を経験したり、学食を実際に利用したりし、大学の雰囲気を感じながら、大学がどういふ場なのか理解するよい機会となりました。東高の卒業生が質問に答えてくれる大学もあり、高校1年生の間にするべきことを教えていただきました。



イビデンでは、セラミック製品の製造過程を見学しました。

● ふれ愛フェスタ2019

5月26日（日）、「ふれ愛フェスタ2019」が開催され、桜町本通り商店街の「チーム八日市」として180名を超える生徒が参加しました。



今年も紙芝居の読み聞かせ（保育プラン）、スライム作り（写真科学部科学班）、魚釣りゲーム（JRC部）、似顔絵コーナー（美術部）、フリーマーケット（服飾プラン）、東高レストラン（家庭部）など各部活動・プランの生徒が日頃の学習を活かしたブースを設置し、地域の方々との交流を深めました。また、受付や着ぐるみなどボランティア有志として参加してくれた生徒も大勢いました。



当日は30℃を超える夏日となりましたが、多くの方々が御来場くださり、終始たくさんの笑顔があふれていました。生徒にとって人と関わることの楽しさ、日頃の学びが地域貢献へ繋がることのやりがいを感じることができた1日となりました。今回の学びをそれぞれの進路実現へ繋げていくことを期待したいと思います。御来場の皆様、ありがとうございました。



東高フリーマーケット



美術部による似顔絵コーナー



「わくわくおつかいできるかな？」

● 修学旅行事前学習（2年生）

2年生の「総合的な学習の時間」では、台湾修学旅行に向けた異文化理解研究を進めています。その一環として、5月20日（月）に同朋大学から渡邊幸彦先生をお招きし、「台湾～歴史と民族～」と題して講演をしていただきました。

台湾の伝統的な人形劇・布袋劇の紹介や、漢民族の客家の暮らし、日本の統治時代を描いた映画などを、映像資料を使って説明していただきました。生徒は、中国や日本が台湾にどのような影響を及ぼしたのか、文字で読むだけでは理解できなかった内容がすっきりと整理できたようです。台湾は日本に対して好意的な印象を持っている方も多いと知り、「自分たちの世代が良好な関係を維持できるように努めたい」といった感想も見られました。10月の修学旅行では、班ごとの探究活動を実施します。より実りのある活動になるよう、準備を進めていきたいと思ひます。

